



十二月十九日は、ことし最後の家庭の日です。この一年をふりかえってみるとともに、新しい年を迎えるにふさわしい企画を考えてみました。たとえば、物と金のしよずんない方、わが家の防火対策、歳末助けあい運動の意義について、冬休みのすし方などについて、つとめて話したいをしてみよう。また、年末の大掃除など家族そろって家庭作業として実施するのも有意義なことです。

町財政の概要

下表は、4・4～46年11月現在における町財政の概況を「基準財政需要額」および「標準財政規模」を基準として、歳入歳出決算額および46年11月現在の予算額と比較対照したもので、何らかの参考になれば幸いです。(単位千円)

Table with 3 columns: 年度別 (44年度, 45年度, 昭和46年度), 区 (歳入, 歳出, etc.), 分 (総額, 差引額, etc.).

昭和四十六年度の一般会計当初予算の状況は、四月号徳地町報でご報告しました。その後、六月定例会、八月の専決処分、九月の定例会の三回の補正で、予算規模は一千三百八十八万四千四百円、増加率二・一、二・二%の増加となっております。次へ今後の町財政の見通しについて申し上げます。昨年度に始まった景気の後退や、一連の景気対策により、ようやく景気の底入れムードがたどられた八月、中旬、金、ドル交換の一時停止や、輸入課徴金制度の実施など八項目です。

町制施行以来の

七億こえた大型予算

徳地町長 長嶺政男

地方自治法および徳地町財政状況の公表に関する条例の規定により、昭和四十六年度上期の財政状況、昭和四十五年年度決算見込みについて、その概要を報告します。

昭和46年度一般会計歳入予算の状況

Table with 3 columns: 款別 (地方税, 自動車交付金, etc.), 11月末現在予算現額, 構成比%.

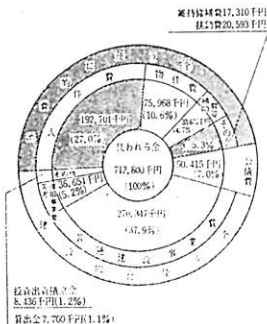
昭和46年度一般会計歳出予算の状況

Table with 3 columns: 款別 (議会費, 総務費, etc.), 11月末現在予算現額, 構成比%.

性質別にみた歳出予算

昭和四十五年度の

決算見込みのあらまし

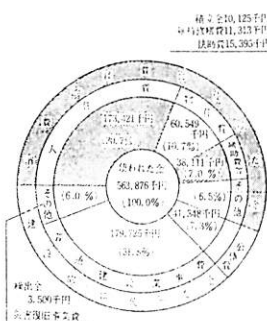


昭和四十五年度の地方財政の環境をふりかえってみますと、四十五年秋ごろより、景気の沈滞化の動きが見え始めたといえ、町

性質別45年度決算見込み状況

昭和45年度

一般会計決算見込み状況



六億三千九百万円に、収入増額となり、歳入面では、前年より二億七千万円増、歳出面では、前年より一億九千万円減、歳入増額が歳出増額を上回ったことにより、繰越金が増加した。これは、町民の協力のおかげです。

昭和45年度一般会計決算見込み状況

Table with 3 columns: 費目別 (町税, 自動車取得税交付金, etc.), 昭和45年度決算見込み額, 構成比%.

昭和45年度一般会計決算見込み状況

Table with 3 columns: 費目別 (議会費, 総務費, etc.), 昭和45年度決算見込み額, 構成比%.

昭和45年 特別会計決算見込み状況

国民健康保険事業は、46年度会費が45年度に収納されたものです。

Table with 4 columns: 特別会計名 (国民健康保険事業, etc.), 歳入千円, 歳出千円, 差引額千円.

歳末助けあい

ご協力のおかげ

「歳末助けあい運動」は、明治四十一年救世軍が行った「慈善鍋」が最初だといわれています。町や町民協会は、十二月十五日までこの運動を展開いたします。

は前年対比二十二%の増加です。とくに辺地債、過剰債を充当した道路の改良(とくに簡易)経費が六千八百八十万円、かなりの金額を記録しました。その反面、義務経費が歳出面に占める割合が六十%とかなりの高水準にありまして、今後の町の財政運営には、なおいっそうの改善努力が必要であります。

過疎対策で工場誘致 住民福祉の向上はかる

住民福祉の向上はかる

本町は昨年度「過疎地域対策振興法（十年間の期限立法）」により、過疎地域として指定公示されています。

町は、昨年九月「徳地町過疎地域振興計画」を議会での議決を経て策定しました。

町がこのたび大字岸見地内に誘致した、防府市、株式会社田島商店（仮称建設、田島商店）はこの過疎地域振興計画に基づいて誘致したものです。

この工場は、糸巻管の糸くずの除去、整理、検査などの作業を行う工場で、公害をおさおさねは全くありません。

建設開始後は、常時六十名程度雇われることになっています。

誘致工場の敷地二、四二〇坪は町が先般行政上の必要から買収した町有地を貸し付けることになりました。

町がこの町有地を田島商店に工場敷地として、貸し付けるに際して両者が契約した主な内容は、一、契約期間は二十年とする。当初の三年間は賃料を免除するが、その後は、年二十四万円（賃料）を徴収する。

二、借主田島商店は、契約期間の三、この工場が本格操業を開始し、一、九月に二十五日程度までに働きますと、女子で約三万円程度、男子で四万円以上の収入は確保します。

以上が田島商店との契約内容の根拠ですが、それは、なぜ町がこうした優遇措置を待たずまで貴重な町民の財産を特定の有利企業に貸与したか、その目ざすところはなにかについてのべてみますと、一、これは、高度の政治的判断に基づき決定されたもので、その根本理念は、現在、町が相当の犠牲を払い、企業誘致に踏みきることにより、得る、直接に住民の所得収入の増大、身近な処に工場ができ、出稼ぎの必要も多少緩和されるなど多岐にわたる点にあり、町が相応の利益を得ることを目指している。

二、この工場が操業を始めると従業員六十名程度の雇用を全部地元労働力に依存し、他市町村よりはとらないこと。

ただし、万一予定人員が得られなかったときは、この限りではありません。

三、この工場が本格操業を開始し、一、九月に二十五日程度までに働きますと、女子で約三万円程度、男子で四万円以上の収入は確保します。

これは、毎月八十万円以上年間二十数万円の現金が町内に落ちることになります。

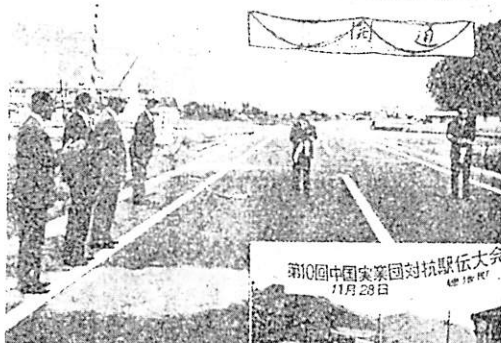
こうした点を総合判断した結果現時点において、町が思い切った投資することにより、長い将来にわたって、町民生活のうえに有形無形の恩恵となつて返ってくるわけである。

こうした雄大な気持と立場から得る町の発展と町民福祉の向上を考へながら、一方では過疎対策の一環として決断し、工場誘致に踏みきったものであることを報告します。

なお、この決定に当っては、議会企業振興特別委員会や経済委員会には、事前に十分検討願いましたので申し添えておきます。

待望の防府一阿東線、新県道の開通

待望久しかった県道、防府一阿東線のうち一六反田間の付けかえ県道、延長2、700mの開通式が11月26日現場で、防府土木事務所長、長嶺町長によりテープが切れ開通式を行いました。



第十回、中国実業団対抗駅伝大会が、十一月二十八日（日）好天気に恵まれた徳地路九十九キロ四百のコースで、二十八人の選手が参加、盛大な沿道の歓送迎に行なわれた。（写真は役場前で行なわれた一コマ）

社会教育振興大会

11月25日9時より、中央公民館で「第9回社会教育振興大会」が開催され約200名の参会者を迎え、阿武孝太郎先生の講演「家庭教育の反省と今後のあり方」や分科会に分れての研修など熱心に行なわれました。（写真下）



青年の山登足

11月9日入山式が行なわれた「青年の山」は、長者ヶ原の一角にある面積6、5haの山林で、会長河野忠良さんほか9人のいすれも夫婦で構成された若人たちが、樹理により各種の試験を行なうもので、この若い20人のグループの今後の活動に大きな期待が寄せられています。（写真は会員紹介）



善意銀行

（写真は、十一月二十八日細小講堂で行なわれた「特産物共進会」の状況です）

▽一千円
大字藤木立石、木村智恵子さん拾得物の払い下げ金を寄附されました。

▽一万円
大字八坂字上八坂、佐藤久子さんより、故金一さんご死去に際しての香典返しの一部として寄附されました。

林野庁長官賞の
榮与に輝く戸田善澄さん

さる九月二十五日東通で行なわれた第十回産業祭、大字野谷字祖父、戸田善澄さんが、ある林業経営の功労者として、林野庁長官賞を受賞されました。

戸田善澄さんは、森林面積四九一ヘクタールを保有され、諸施設設備など充実し、五十有年間にわたるたゆまない努力を続けられて全林地の五八以上に人工林にかえるなど、多くの功績をあげ、かつては紺綬章を受賞した人です。

出雲 八八八四（七、三九〇坪）
八坂 三二五五（四、〇〇〇坪）
島地 四〇七七（四、〇〇五坪）
抽野 一七〇五（一、九二〇坪）
串 一九五五（二、七二〇坪）
合計、九八五五（概ねないゴミの計、二、〇三五Kg）
ゴミ入れ数は、計、八九〇袋を売り出しています。

し尿くみ取り処理場は、町内全線で四、五、八Kとされた。このうえに、みんなが協力しあい、ゴミのないキレイな町づくりに動みましょう。

農地の移動を 農委で適正あっせん

最近の農業情勢は、農業（畜産業を含む）を主体として経営する農家と、自家採育米だけ作ればよいという、第二種兼業農家のふたつに分れており、町としてこうした時期に備え、町としては、八農委振興整備計画に基づいて、「農業振興整備計画」を樹立し、いよいよ実施の時期に入っています。

これは、農業振興対策上からも農業を主体として経営しようとする農家が中心となり、農業の将来を真剣に考えなければならぬ問題です。

農業委員会としては、農業経営の基盤である「農地の移動」について、経営規模の拡大が容易にはかられるよう努力しています。すなわち、農地をふやしたい人、借りたい人などの希望を聞き、農地を移動させようとする。これは、農地を移動させようとする。これは、農地を移動させようとする。

町づくりにも動もう

さる八月から実施した八町と八町の協力で、皆さんのご理解があるが、日増しに成果があらわれ、感謝にたえません。十月中の成績を報告します。（カッコ内は燃えないゴミ）

あとかき
いよいよとし最後の町報となりました。皆さまから、お寄せいただいたご意見、ご感想に対し、心から感謝いたします。ニクソン、ショック、景気回復なども、これから寒さと年の瀬をひかえて、皆さまが健康で明るい新年を迎えられますよう、心から祈り申しあげます。

最近の農業情勢は、農業（畜産業を含む）を主体として経営する農家と、自家採育米だけ作ればよいという、第二種兼業農家のふたつに分れており、町としてこうした時期に備え、町としては、八農委振興整備計画に基づいて、「農業振興整備計画」を樹立し、いよいよ実施の時期に入っています。

これは、農業振興対策上からも農業を主体として経営しようとする農家が中心となり、農業の将来を真剣に考えなければならぬ問題です。

農業委員会としては、農業経営の基盤である「農地の移動」について、経営規模の拡大が容易にはかられるよう努力しています。すなわち、農地をふやしたい人、借りたい人などの希望を聞き、農地を移動させようとする。これは、農地を移動させようとする。

町づくりにも動もう

さる八月から実施した八町と八町の協力で、皆さんのご理解があるが、日増しに成果があらわれ、感謝にたえません。十月中の成績を報告します。（カッコ内は燃えないゴミ）

あとかき
いよいよとし最後の町報となりました。皆さまから、お寄せいただいたご意見、ご感想に対し、心から感謝いたします。ニクソン、ショック、景気回復なども、これから寒さと年の瀬をひかえて、皆さまが健康で明るい新年を迎えられますよう、心から祈り申しあげます。